

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市高津スポーツセンター	評価対象年度	平成27年度
事業者名	SELF高津スポーツセンター事業体 代表:特定非営利活動法人 高津総合型スポーツクラブSELF 理事長 平口 和宏 住所:川崎市高津区二子5丁目14番31号 <構成団体> NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF 株式会社 カワサキスポーツサービス	評価者	地域振興課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	高津区役所まちづくり推進部地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	
	31,685	25,790	24,330	32,232	23,444	26,269	28,238	33,641	22,862	20,763	28,379	23,472	321,105	
収支実績 (単位:千円)	(単位)千円													
	収入	指定管理委託費			52,729									
		利用料金収入			38,623			支出	計				128,076	
		事業収入他			37,828									
計				129,180			収支差額						1,104	
サービス向上の取組	<p>指定管理第2期5年目となり、これまでに蓄積されたノウハウや、館長へのひとこと、利用者アンケート等で得たニーズを積極的に分析しながら、割引率と利便性を向上した回数券(6枚1,000円20%割引)の設定、ワンコイン(500円)で行える当日受付の教室の実施、ストレッチルーム空き時間を活用した小集団による教室の実施、スポーツデーの人気種目の抽選の導入等、利用者の要望・利便性に配慮したサービス向上が年度毎に検討され、精力的に実施されている。</p> <p>利用促進の取り組みとして、幼児体育室の活用についてはボランティア保育システムを確立し、子育て期の保護者におけるスポーツ活動参加の促進を図り、応募者が多いスポーツ教室では応募人数やレベルに配慮し、同じ種目を2部編成にする等、多様なニーズに合わせた対応策を実施し、社会実情や市の課題を把握した地域色のある事業を展開し、リピーターの確保につなげている。</p>													

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	4(0.8)	4
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由) 基本方針の具現化のため、これまでの管理運営で蓄積されたノウハウを活かしながら効率的な運営を行い、多様化するニーズや利用者増に応え、幼児から高齢者までを対象とした年間61種目の教室事業を幅広く展開している。スタッフ全員が、利用者一人一人に厚遇をもってサービス向上に努めている結果が、施設への愛着とリピーターの確保につながり、生涯スポーツの振興の役割を十分に果たしている。 事業成果として、自己評価・今後の展開・改善案等の検証・検討を行うとともに、各教室ごとにアンケートを実施し、利用者から意見・要望の反映、プログラム改善に努めるなど、利用者の視点に立った事業展開を行った結果、前年度に引き続き、32万人を超える年間利用者があった。				
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無いよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	4(0.8)	4
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービス(飲料・補食品の販売を含む)の向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための適切な労働条件や、労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	4(0.8)	4
	職員研修	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事故の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由) 利用料金について、割引率と利便性を向上した回数券(6枚1,000円20%割引)の設定、ワンコイン(500円)で行える当日受付の教室の実施により、利用しやすい料金設定で、気軽にスポーツを行うことのできるサービスを提供している。 提供サービスとして、開館時間前の団体利用の時間延長対応、エントランス大型液晶ビジョン等を活用した情報発信、屋上ゲートボール場の地域開放など、近隣住民にも配慮した施設の活用を図っている。 利用促進としては、地域人材を登用した保育サービス、講師の付いたスポーツデーなど、利便性向上への取り組みを精力的に行うとともに、スポーツセンターニュースの毎月発行、施設空き情報のメール発信など、利用率向上の広報活動を独自に実施している。 人員配置として、地域人材を積極的に活用するとともに、利用者数の増加に対し、有資格者を追加雇用するなど円滑な運営体制が取られた。また、選挙、区民祭、避難所運営等、市の事業に対して、時間外対応、追加配置など臨機応変な人員配置を行っていた。 職員研修として、接遇研修及び施設管理研修、トレーニングスタッフの指導・技術研修会等に加え、外部の研修にも参加し、トレーニング指導士の資格を取得するなど職員の資質向上への取り組みが積極的に行われている。 危機管理においても、消防署を招き職員と利用者が共同で行う避難誘導訓練等、計画どおりに実施された。また、平成27年10月の台風18号対応として、区役所の要請に迅速に対応し、館として全面的な協力体制を整え、スムーズに避難所を開設し、地域の防災拠点としての役割を果たしていた。				

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	4(0.8)	4
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業を実施しているか(トレーニング室含む)。	5	5(1.0)	5
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	4(0.8)	4
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	4(0.8)	4
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	5(1.0)	5
(評価の理由)					
<p>施設の利用提供として、これまでの運営実績やアンケート結果を踏まえた多様なニーズにあった幼児から高齢者までを対象とした定期教室や、ストレッチルームを有効活用した小集団や幼児・高齢者に対応した教室、気軽にスポーツが楽しめるよう予約不要のワンコイン(500円)で設定された教室等、スペース・時間を最大限活用した年間61種目のスポーツ教室が展開されている。</p> <p>個人開放事業においては、卓球・バドミントンの人気の高い種目について、場所取りの抽選を取り入れるなど、誰もが公平に施設を利用できる環境づくりにも留意している結果、年間を通じて、大きなクレーム、トラブルもなく、事業を実施している。トレーニング室については、比較的用户者が少なかった15時20分から18時20分の時間帯の利用促進を図った結果、年間利用者が、前年度の59,244人から5%増の62,444人の利用者につながった。これらの地道な取組みにより、リピーターの定着につなげている。</p> <p>教室事業について、前年度から比べ、教室事業収入、教室参加者の減となったが、新たに小学生を対象とした春休みの短期教室(キッズ体操、バク転教室)を実施し、新たなニーズの発掘に取り組んでいた。</p> <p>相談業務については、健康運動指導士をトレーニング室内に常駐させ個別の運動相談を実施するなど、利用者ニーズに合わせた運営が行われている。また、若者の人材育成にも力を入れており、教室事業に教員を目指す大学生などがボランティアスタッフとして参加し、将来を担う指導者の育成にも取り組んでいた。</p> <p>指定管理者自身が、総合型地域スポーツクラブである特性を生かし、総合型地域スポーツクラブ育成連絡協議会では中心的な役割を担い、情報提供・アドバイスを積極的に行ったほか、総合型スポーツクラブイベントでもクラブのとりまとめを積極的に行っている。</p> <p>自主事業としては、高津区民祭と同日に開催した「タカスポ祭り」では、前年度から約1,000人増の約7,000人の参加者があり、地域のスポーツ団体の発表会を行うなど地域連携を図る取組みが行われていた。また、1月に開催した民間スポーツクラブとの連携による「新春デイルーエアロレストラン」では、350人の参加者があり、多角的に利便性向上に寄与した取組みが行われていた。</p>					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由) 収支計画どおり、適正な執行を行っていた。				

#### 4. 総合評価

評価点合計	78	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>総合型地域スポーツクラブである団体特性を活かし、地域人材を積極的に登用したスポーツ振興事業及び管理運営を行い、様々なニーズに応える事業の展開を行っている。</p> <p>地域のスポーツ振興を担う施設としてスポーツ活動の場を提供するとともに、地域スポーツ活動の支援や情報提供、地域人材の育成を積極的に行うなど、地域密着型の事業展開を行いながら公の施設としての理念を尊重し、公共施設としての役割を果たすよう努めている。また、区民祭など地域連携イベントの協力や、避難所開設など行政・地域の課題や施策へも積極的に協力しており評価できる。</p> <p>教室事業では教室ごとにアンケートを実施し、多様化するニーズの把握や更なる施設活用を常に模索しており、自ら設置したストレッチルームや、予約不要のワンコイン(500円)教室等、スペースや時間を最大限利用したプログラムを実施した結果、リピーターの確保につなげている。</p> <p>さらに、個人開放事業で、卓球・バドミントンの人気の高い種目については、場所取りの抽選を取り入れるなど公の施設としての役割を十分に理解し、誰もが公平・平等に施設を利用できる環境づくりに取り組んでいることも評価できる。</p> <p>このような取り組みを評価し、評価点に反映させている。</p>
--

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>これまでのノウハウを活かしながら、今後も幼児から高齢者まで多様なニーズに合わせた事業を展開し、スポーツで仲間とふれあい、地域での交流が楽しめる生涯スポーツの拠点を目指すとともに、広報誌等の発刊や既存の情報誌・ネットワークへの情報提供等、スポーツ振興の発信基地としての取り組みも推進すること。</p> <p>行政との連絡を密にし、地域のスポーツ団体、関係団体との連携・協働を更に深め、スポーツを通じたコミュニティづくり推進・高齢者対応・子育て支援等の行政課題や地域課題にも留意した事業展開を図ること。</p> <p>公平で平等な利用を確保しつつ、経済効果にも留意し、公共性と効率性との両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営による経費節減に努めるとともに、施設の老朽化も考慮した中長期的視野も含め、施設の長寿命化・省エネ化なども踏まえた管理を行うこと。</p> <p>引き続き総合型地域スポーツクラブの育成や支援、クラブ間のネットワーク形成の協力を行い、クラブ活動の拡大や認知度の向上に向けた取組みを行うこと。</p> <p>利用者が比較的に少ない15時20分から18時20分の時間帯について、広報するなどの利用促進の取組みを引き続き行うこと。</p>
---